

大学図書館問題研究会 京都

京都市左京区吉田本町 京都大学教育学部図書室 (竹村心気付)
TEL 075-751-2111 (内3013)

大学図書館問題研究会京都支部 10月例会 案内

「京都工芸繊維大学附属図書館 閲覧業務の機械化について」

仲秋の候。会員の皆さん、いかがお過ごしでしょうか。

大図研京都支部委員会では10月例会に京都工芸繊維大学附属図書館の会員の御協力により、閲覧業務の機械化の事例の見学と報告を企画しました。

当大学附属図書館では、本年4月より、貸出業務の機械処理を開始し、8月までの試行期間を経て、9月より本稼動しています。

このシステムの特徴は

第1に、トランザクション方式を採用していること、第2に、画面表示が日本語(漢字)表示されること、第3に、貸出・返却・予約の処理時に、ミニプリンターより、各処理の確認のためのシートが出、利用者との信頼関係および貸出のシートについては利用者の個人の読書記録となること、第4に、情報センター端末とはいえ、館内の30メガ・ディスク内に貸出記録が書き込まれ、館外には出ないので、利用者の読書の秘密が保護されていること、第5に、これは弱点ともいえるが、今後の問題としては、図書マスターとのリンクづけが問題になっていることです。

今後の各館の業務機械化の参考にさせていただければ幸いです。

「京都工芸繊維大学附属図書館 閲覧業務の機械化について」

①見学

②報告 岡本安司氏 (京都工芸繊維大学図書館)

日時 : 1982年10月23日(土) 午後2時~4時

会場 : 京都工芸繊維大学附属図書館会議室 (京都バス・高野泉町下車)